

I 万国博覧会の歴史について述べた次の文章を読んで、問1～問8に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて〔解答用紙A（マークシート）〕の所定の解答欄にマークしなさい。

多くの産物を集めて人々に見せる催しである「博覧会」は古代から様々な形で行われていたが、近代に入ると産業技術の展示会としての博覧会がヨーロッパ諸国で盛んに行われるようになった。世界各国が参加する最初の万国博覧会（以下、万博と略）は1851年にイギリスのロンドンで開催された。会場のA 水晶宮（クリスタルパレス）とそこに展示された製品は産業革命の成果を誇示するものであり、多くの来客があり成功を収めた。これに刺激を受けたフランスなど各国でも万博が開催されるようになった。

1862年の第2回ロンドン万博では日本からの正式の出品はなかったが、B イギリス初代駐日公使を務めたオールコックは自身で集めた日本の品々を展示して人々の関心をひき、また当時ヨーロッパを訪問していた幕府使節団も万博を見学した。この使節団に加わっていた福澤諭吉はC『西洋事情』で「博覧会」の賑わいを記している。1867年の第2回パリ万博はナポレオン3世が統治するフランス第二帝政の成果を誇るものとして大々的に開催され、またD 日本が初めて正式に参加した万博としても知られる。

1873年には、オーストリアのフランツ＝ヨーゼフ1世の在位25年を記念してウィーンで万博が開かれた。またE ウィーン万博は明治政府が初めて参加した万博であった。1889年に開催された第4回パリ万博ではシンボルとしてエッフェル塔が建設されたが、同時にフランスの植民地であるアルジェリア、チュニジア、カンボジア、ベトナム（アンナン、コーチシナ、トンキン）などのパビリオンも建設された。その中には、フランス領セネガルやF ニューカレドニアなどから連れてきた先住民を柵で囲われた集落で生活させる「人間の展示」もあった。

その後も万博は開催されていくが、第一次世界大戦以降の国際関係の影響は万博にもおよんだ。1937年の第7回パリ万博ではドイツ館とソ連館が向きあって競いあうように建てられ、スペイン共和国館ではスペイン内戦におけるドイツ軍の空爆をあつかったピカソの「ゲルニカ」が展示された。G 日本でも万博への参加や開催計画は国内問題や国際情勢に影響された。

一方、H 1970年に大阪で開催された万博では、多くの企業が個性的なパビリオンを出展して日本の高度経済成長を象徴するイベントとなるなど、万博はその国の経済力を示すものともなっている。このように万博を通じて、私たちは世界と日本の歴史を知ることができる。

問1 下線部Aに関連して、次の文章を読んで、文章中の空欄（ア）～（ウ）に入る人名を、下の1～9の中からそれぞれ選びなさい。

アの解答は解答欄〔1〕に、イの解答は解答欄〔2〕に、ウの解答は解答欄〔3〕に、  
その番号をマークしなさい。（重複使用不可）

水晶宮は、当時イギリスで大量に生産されるようになった鉄とガラスを使って建築された。鉄の大量生産は、コークス製鉄法が（ア）によって実用化されたことで可能となった。水晶宮を会場とするロンドン万博には鉄道を利用して多くの観客が訪れたが、鉄道は鉄の大量生産に加え、（イ）が客車・貨車を牽引できる蒸気機関車を開発したことで急速に発達した。（ウ）が発明したミュール紡績機も蒸気機関を使って大量生産が可能のように改良されたが、それは同時に多くの単純労働者を生み出すことにもなった。

- |           |            |             |           |        |
|-----------|------------|-------------|-----------|--------|
| 1. クロンプトン | 2. ジョン＝ケイ  | 3. スティーヴンソン | 4. ダービー   |        |
| 5. ニューコメン | 6. ハーグリーヴズ | 7. フルトン     | 8. ホイットニー | 9. ワット |

問2 下線部Bに関連して、次の資料はオールコックの日本滞在記の日本語訳からの抜粋である（必要に応じて表現を改めた）。これを読んで、以下の①～③に答えなさい。

外国人が、かなり大規模に金貨の輸出を行っていた。そこで政府は、それを強奪的な不法行為と見なして憤慨したばかりか、国をまったくの貧困状態におとし入れるという結果にいたく驚いた。実際に、これはかつての悪夢の再現であった。すなわち、 $\alpha$  外国との交際がはじまった最初の世紀〔16世紀〕に、ポルトガル人やスペイン人は、国内の金塊や貨幣を手のおよぶかぎりもち出して当時の支配者に不安の念をいだかしめ、また憤慨させたものだ。たしかにこのことは、 $\beta$  <sup>タイコウサマ</sup>太閤様やその後継者たちが皆殺しと完全な鎖国策を遂行するにいたった断固たる憎悪の主な原因のひとつであった。われわれは、まさしくこれと同じ理由で、同じ危険にさらされているようであった。わたしが閣老たちを、真の解決策はかれらの手中にあり、 $\gamma$  かれらの金と銀の相対価値をヨーロッパ市場において通用している比率と同じにして不均衡を是正すればよいというふうに説得するには長いことかかった。

〔資料出所〕オールコック『大君の都』。

- ① 資料中の波線部 $\alpha$ に関連して、ポルトガル商人は、産出量の増大した日本産の銀を主に中国に輸出した。当時の日本で銀の産出量を大きく増大させた技術の名称を、〔解答用紙B〕の所定の欄に記入しなさい。
- ② 資料中の波線部 $\beta$ に関連して、豊臣秀吉政権の後の江戸幕府は、当初は貿易の利益のためにキリスト教の布教を黙認していたが、その後キリスト教に対する統制を強め、宗門改めを実施するに至った。こうした幕府の方針転換の背景とその統制の展開過程について、具体的な政策に触れつつ、〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。
- ③ 資料中の波線部 $\gamma$ に関連して、幕末の開港後における金貨の流出に対し、江戸幕府が行った貨幣政策はどのようなものであったか、〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問3 下線部Cに関連して、次の文章を読んで、文章中の空欄（ア）、（イ）に入る語を、〔解答用紙B〕の所定の欄に記入しなさい。

幕末には福澤諭吉の『西洋事情』のように、欧米を訪問した人物が欧米の制度や思想を日本に紹介するために執筆した書籍が次々に刊行されたが、江戸幕府も開国前から洋書の翻訳を行う部署を設けて西洋の知識を吸収しようとしていた。幕府は天文方に（ア）を設けて高橋景保を中心に洋書の翻訳に当たらせていた。開国後、（ア）は洋学所を経て（イ）に発展し、洋学教授と外交文書翻訳を行った。（イ）はその後、洋書調所、開成所となり、明治政府に移管されて開成学校となった。

問4 下線部Dに関連して、第2回パリ万博には江戸幕府のほか佐賀藩・薩摩藩が参加し、特に薩摩藩は、琉球王国との関係を利用して幕府とは別の立場で参加した。これに関する以下の①、②に答えなさい。

- ① 1609年に薩摩藩の支配下におかれて以降の琉球王国と、中国王朝および幕府との外交関係はどのようなものであったか、〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。
- ② 江戸時代後期に調所広郷のもとで藩政改革を行った薩摩藩は、俵物を輸出して利益を上げたが、それは幕府の貿易と競合していた。薩摩藩は俵物をどのように入手し、どのように輸出したか、幕府の貿易に触れつつ、〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問5 下線部Eに関連して、次の文章を読んで、以下の①、②に答えなさい。

第2回パリ万博に佐賀藩士として、またウィーン万博に明治政府の万国博覧会事務副総裁として参加した佐野常民は、万博を「最新技術を学ぶ場」や「海外への日本のアピールの場」として活用し、日本国内でも博覧会を開催することを訴えた。また佐野は第2回パリ万博で見た国際赤十字の展示に強い影響を受けた。

$\alpha$  大久保利通と対立して参議を辞職した西郷隆盛を擁して起きた西南戦争で多くの戦傷者が出ると、佐野は博愛社を設立して救護を行った。また西南戦争の終結前後には、大久保の提唱により殖産興業の一環として東京の上野で第1回（ア）が開催された。佐野の設立した博愛社はその後日本赤十字社と名称を変更し、佐野は初代社長となった。

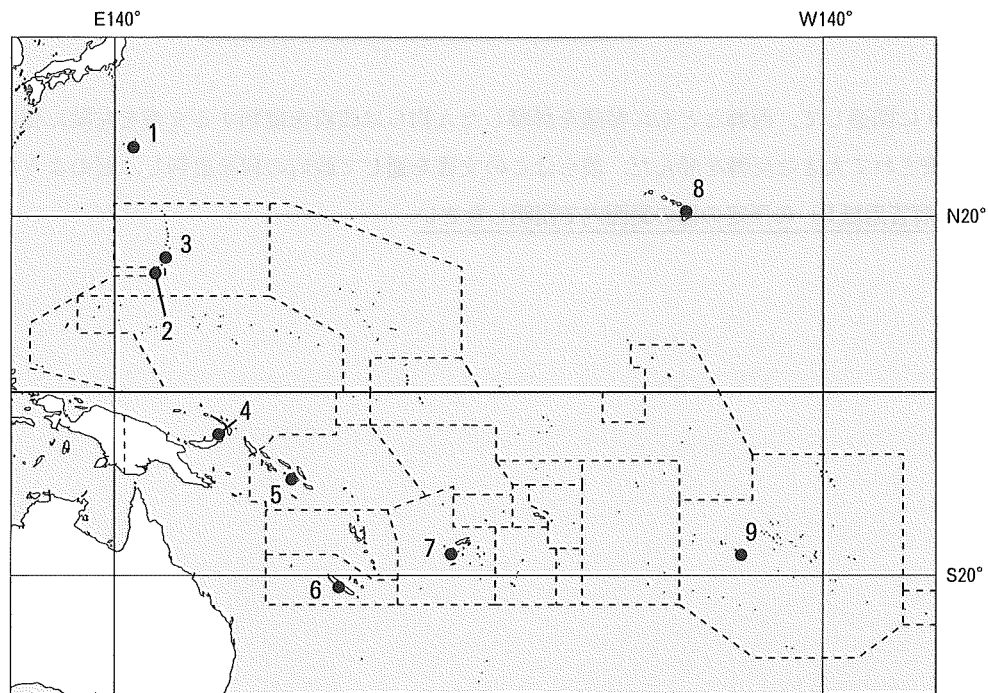
① 文章中の空欄（ア）に入る語を、〔解答用紙B〕の所定の欄に記入しなさい。

② 下線部 $\alpha$ に関連して、西郷とともに参議を辞職した人物らは政府を批判する文書を左院に提出し、その文書は新聞に掲載されて大きな反響を呼んだ。彼らはこの文書を通じて政府の何を批判し、どのようなことを要求していたか、〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問6 下線部Fに関連して、次の文章を読んで、文章中の下線部 $\alpha$ および空欄(  $\beta$  ), (  $\gamma$  ), (  $\delta$  ) の場所として最も適切な位置を、下の地図中の1～9の中からそれぞれ選びなさい。

$\alpha$  の解答は解答欄 (4) に、  $\beta$  の解答は解答欄 (5) に、  $\gamma$  の解答は解答欄 (6) に、  
 $\delta$  の解答は解答欄 (7) に、  
その番号をマークしなさい。(重複使用不可)

$\alpha$  ニューカレドニア島を含む太平洋地域には、18世紀にイギリス、19世紀にドイツとフランスが進出した。またアメリカはアメリカ=スペイン戦争の結果フィリピンと(  $\beta$  )を獲得し、さらに(  $\gamma$  )を併合した。日本も第一次世界大戦後、大戦中に占領したドイツ領南洋諸島の一部の委任統治を国際連盟から認められた。遅れて太平洋に進出したアメリカと日本は太平洋戦争勃発後、太平洋の島々で激しい戦闘を繰り広げた。特に(  $\delta$  )が陥落したことはそれまで戦争を遂行してきた日本の内閣の交代につながった。



備考：国境線は現在のもの。

問7 下線部Gに関連して、次の資料a～cは、万博に係る新聞記事からの抜粋である(必要に応じて表現を改めた)。資料a～cが新聞に掲載された時期を、下の年表中の空欄1～7の中からそれぞれ選びなさい。

a の解答は解答欄 (8) に、 b の解答は解答欄 (9) に、 c の解答は解答欄 (10) に、  
その番号をマークしなさい。(重複使用不可)

a

事変発生以来問題となりつゝあつた第十二回オリンピック大会中止返上並びに万国博覧会延期問題は遂に十五日の閣議で決定を見たが、右は単に物資の節約を目的とする小乗的工作ではなく、内閣改造以来益々強化されて来つた政府の長期戦態勢完備の一翼をなすものであることは注目される。即ち(中略)わが政治経済史に画期的なる物資総動員計画を樹立するに至つてゐるが、これ等の基調としては最近(中略)首相が国民政府を對手とせざる一月十六日声明の根本方針を堅持し長期戦に備へると言明し、(中略)蔣政権動揺の報しきりなるにも拘はらず姑息なる解決を捨てゝ今事変を機とし東亜百年の平和を完全に確立する迄は徹底的に軍事、外交、経済工作を進め所謂長期建設の大国策に邁進することゝなつた結果オリンピック、万国博覧会も右政府の根本方針の一翼をなすものとの処置に出たものである

b

不景気に萎靡沈滞してゐる今の世相をバツとし明るく賑やかにし併せて産業振興をも図らうと先頃から我国に万国博覧会開催の計画が東京府市、商工会議所、日本実業組合聯合会等の間に講究されてゐたが愈よ具体案が出来上り枢密顧問官古市公威男を会長に商工会議所内の博覧会協会が主体となつて近日中（中略）井上蔵相、俵商相、江木鉄相等を訪問し諒解を求めるまでになつた

（中略）予算は一千五百万円から二千万円の見込であるが博覧会協会では近く政府に対し

一、政府から五百万円乃至三百万円の補助金を出して貰ひたい

二、若し補助金を出せない時は博覧会協会に資金調達の自由手段を認めて欲しい

といふことを陳情する手筈で緊縮内閣の下に此の大計画が認められるか否か疑問であるが関係者は（中略）樂觀して居る

（中略）何れにしても実現の暁は土木建築始め数多の人手を要する所から失業難を緩和出来るのは事実である

c

堀内駐米大使は廿八日夜ウオールドルフ・アストリア・ホテルにおけるニューヨーク万国博「日本デー」祝賀晩餐会の席上一場の演説を行つたが、大使は（中略）次の如く述べた

（中略）極東に在つては日滿支三国が東亜民族協調の新たな基礎を樹立しつつあり、又欧州においても同様の傾向が窺はれる、この地方的集團体制も各個孤立的のものとなれば現在世界が直面してゐる種々の困難は更に増加するのみである

日米両国は太平洋の通商路を自由に開放することに依りこの問題の解決に努力すべきである、このためには目下日米両国間に横はる現実を率直に認め相互信頼の精神を以て両国間の諸問題の解決に当るべきである、日米通商条約の廃棄にも拘らず両国の通商が依然緊密なる關係に在ることは吾人の意を強うするところで、これは即ち日米通商關係の根本的現實性を実証するものにほかならない、日米通商關係は欧州の情勢に依り一段と重要性が加はるに至つたが米國が現在南北兩米の通商が欧州戦争に依り阻害されないやうにと努力してゐる如く日本も又極東において同様の努力を払つてゐる

（資料出所はいずれも省略する。）

1

張作霖が殺害された。

2

犬養毅が首相に就任した。

3

国体明徴に関する政府声明が出された。

4

盧溝橋事件が起きた。

5

平沼騏一郎内閣が総辞職した。

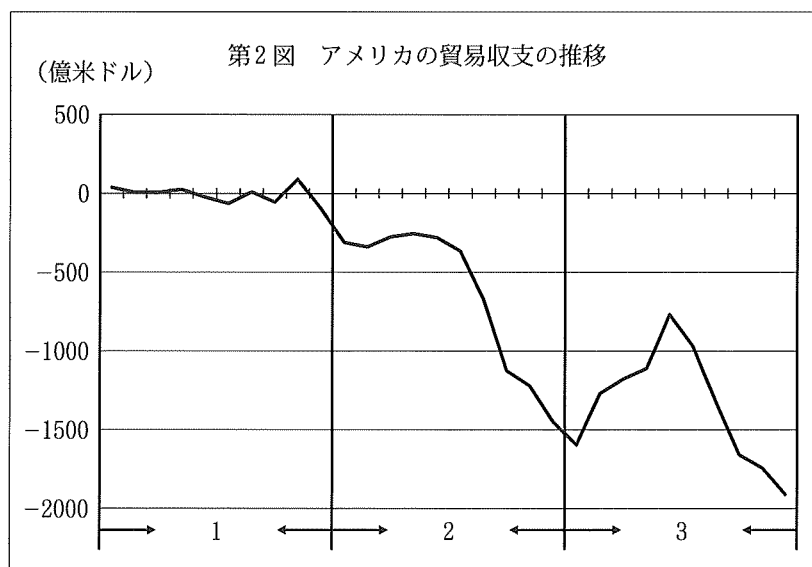
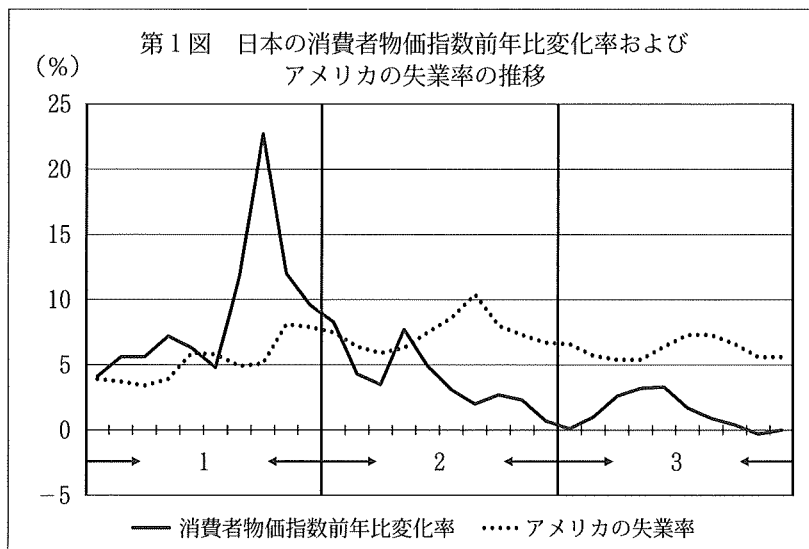
6

日本軍がフランス領インドシナ南部に進駐した。

7

問 8 下線部Hに関連して、次の第1図、第2図は、大阪万博が開催された年を含む、ある30年間の日本の消費者物価指数前年比変化率、アメリカの失業率、アメリカの貿易収支の推移をグラフ化したものである。図の横軸の1～3は、10年ごとの区分（2つの図で共通に設定）である。下のa～cの出来事が起きた時期を、図の1～3の中からそれぞれ選びなさい。ただし、a～cの出来事が起きた時期が1の時期より前の場合は0を、3の時期より後ろの場合は4を選びなさい。

aの解答は解答欄 (11) に、 bの解答は解答欄 (12) に、 cの解答は解答欄 (13) に、  
その番号をマークしなさい。（重複使用不可）



〔資料出所〕 e-Stat（消費者物価指数前年比変化率，持家の帰属家賃を除く総合指数，平成22年基準），  
U.S. Department of Labor, Bureau of Labor Statistics（アメリカ失業率），U.S. Department of  
Commerce, Bureau of Economic Analysis（アメリカ貿易収支）より作成。

- ニューヨークで開催された先進5か国蔵相・中央銀行総裁会議（G5）でドル高是正が合意された。
- リーマン＝ブラザーズが経営破綻して、世界的な金融危機が生じた。
- 6か国による先進国首脳会議がパリ近郊のランブイエで初めて開催された。

Ⅱ ある人物の生涯について述べた次の文章を読んで、問9～問15に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて〔解答用紙A（マークシート）〕の所定の解答欄にマークしなさい。

1854年9月19日、江戸芝中門前町（現在の東京都港区芝大門）で和喜次は生を受けた。養子に出された「彼」は、ヘボン式ローマ字で知られるA ジェームス＝ヘボンの妻、クララ＝ヘボンのもとで英語を学び、外輪船コロラド号に乗り込んで13歳の若さで留学を果たした。契約の手違いで強制労働を課されそうになるなど、B 1年半のアメリカ生活は波乱に満ちたものだったが、この時の経験は、その後の彼の生涯に決定的な影響を与えることになる。

当時の日本は、欧米の特許や著作権を保護する法律を持っておらず、C その法整備が不平等条約からの脱却に不可欠だと考えられていた。彼は文部省に入省したが、高い英語能力に白羽の矢が立ち、わずかひと月で新設の農商務省への異動を命じられ、そこで前田正名と出会う。前田からは、経済成長が国防に優先すること、成長のためには経済界に低い金利で資金を提供すべきこと、国内産業を保護して輸出を振興すべきことなどを学んだ。また、前田の助言を受け、職を辞してペルーに渡り、銀山経営にも乗り出した。D 銀本位制を採用していた当時の日本にあって、銀山経営は日本経済を発展させる土台を作る、と考えての決断だった。

銀山への投資に失敗し、無一文になった彼は、失意のもとに帰国するが、前田のあっせんもあって、日本銀行の建築事務主任として新たな人生をスタートさせた。順調に出世を遂げて副総裁になったときには、部下の深井英五とともに日露戦争の戦費調達のための外債募集を行い、これを成功させている。また、取りつけ騒ぎが起きた昭和の金融恐慌では、大蔵大臣として全国の銀行を一斉に休業させ、片面白紙の200円札を日銀に発行させて、これを銀行窓口に積み上げることで混乱を終息させた。

危機の指導者ともいべき彼の才能は、昭和恐慌からの脱却期にも発揮された。恐慌の淵にあえぐ日本経済を見事に復活させ、政策運営の後半期には、返す刀で財政支出、とりわけ軍事費の抑制に取り組んだ。だが、彼の奮闘は、E 陸軍青年将校の怒りを買うところとなり、1936年2月26日、クーデターの標的となって81年の生涯を終えることとなる。

ダルマさんのあだ名で知られた彼は、多くの国民から愛された。同時に、その思い切った財政運営は、F 戦後の大蔵省出身の政治家にも強い影響を与えることとなった。

問9 文章中の「彼」とは誰か。大蔵大臣就任時の姓名を、〔解答用紙B〕の所定の欄に記入しなさい。

問10 下線部Aに関連して、ヘボン医師であると同時に、教育者であり、宣教師であった。教育と宗教に関する次のa～cの出来事は、下の年表のどこに入るのが適当か。年表中の空欄1～6の中からそれぞれ選びなさい。

aの解答は解答欄〔14〕に、 bの解答は解答欄〔15〕に、 cの解答は解答欄〔16〕に、  
その番号をマークしなさい。（重複使用不可）

- a. 教育に関する勅語が下賜された。
- b. 神祇官によって神仏分離令が出された。
- c. 新島襄によって同志社英学校が設立された。

1

王政復古の大号令が布告された。

2

神道の国教化をうながす大教宣布の詔が発せられた。

3

キリスト教を禁止する高札が撤廃された。

4

学校令が制定され小学校から大学までの教育体系が整備された。

5

内村鑑三が第一高等中学校講師の職を失った。

6

問11 下線部Bに関連して、この1年半の留学の間に、約260年におよんだ江戸時代は終焉していた。幕末における一連の出来事のうち、大政奉還の提案を受け入れた徳川慶喜のねらいについて、土佐藩による提案に触れながら、〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問12 下線部Cに関連して、大隈重信外務大臣による条約の改正交渉が頓挫した後、続く外務大臣下の交渉において、イギリスはどのように態度を変化させ、交渉はどのような結果に終わったか。イギリスの態度に影響を与えた国際環境の変化に触れながら、〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。



問13 下線部Dに関連して、1897年に銀本位制は金本位制に改められたが、金本位制のもとで輸入超過に陥ると、どのようなメカニズムが働いて輸出と輸入が変化すると認識されていたか。制度のメカニズムを理論的に示した以下の文章を読んで、空欄（ア）～（ウ）に入る語の組み合わせとして最も適切なものを1～8の中から選び、その番号を〔解答用紙B〕の所定の欄に記入しなさい。

金本位制を採用しているある国が輸入超過に陥ると、差額を埋めるために金が（ア）する。すると、その国では通貨発行量が（イ）し、物価が（ウ）するので、輸出が増大し、輸入が減少する、と認識されていた。

- |             |       |       |
|-------------|-------|-------|
| 1. ア. 国外に流出 | イ. 減少 | ウ. 上昇 |
| 2. ア. 国外に流出 | イ. 減少 | ウ. 低下 |
| 3. ア. 国外に流出 | イ. 増大 | ウ. 上昇 |
| 4. ア. 国外に流出 | イ. 増大 | ウ. 低下 |
| 5. ア. 国内に流入 | イ. 減少 | ウ. 上昇 |
| 6. ア. 国内に流入 | イ. 減少 | ウ. 低下 |
| 7. ア. 国内に流入 | イ. 増大 | ウ. 上昇 |
| 8. ア. 国内に流入 | イ. 増大 | ウ. 低下 |

問14 下線部Eに関連して、当時の陸軍では、皇道派と統制派と呼ばれるグループが対立していた。これら2つのグループが理想とした国家像を示し、対立がどのように決着したのかについて、〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問15 下線部Fに関連して、以下の①～③に答えなさい。

- ① 次の資料は、大蔵省出身の政治家、池田勇人の名義で出された著作からの抜粋である（必要に応じて表現を改めた）。資料中の空欄（ア）、（イ）に入る人名と（a）に入る語を、〔解答用紙B〕の所定の欄に記入しなさい。

（ア）がはじめにきたのは、昭和24年の5月である。（中略）（ア）に日本にきてもらうという案は、私  
がその年の2月に、（イ）と「減税交渉」をやって遂に失敗した頃からあった。私は（ア）に、別段  
日本の税制について理論的な勧告をしてもらう、という積りはなかった。（中略）（ア）にきてもらうこと  
になった一番の理由は、当時の総司令部内の勢力関係を考慮したからである。前にのべたように、前の年の末  
にワシントンから「（a）」という指令がでて、日本のインフレーションを収束するためにいろいろな手段  
がとられはじめた。（イ）がきたのも、その1つである。

（資料出所は省略する。）

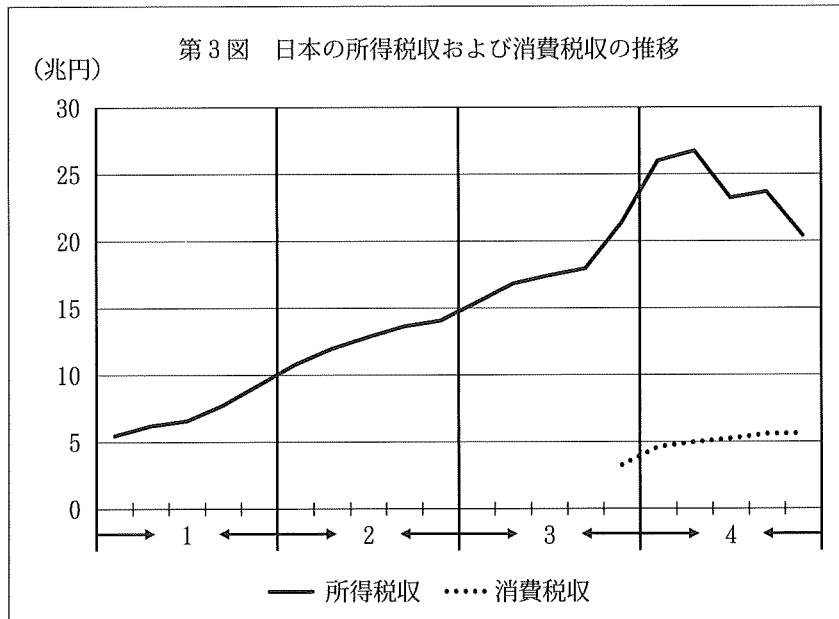
- ② 池田勇人が石橋湛山内閣で大蔵大臣に就任する直前、神武景気と呼ばれる大型景気のもと、政府はある経済報告  
を発表した。次の資料は、それからの抜粋である（必要に応じて表現を改めた）。資料中の空欄（b）に入る語  
を、〔解答用紙B〕の所定の欄に記入しなさい。

いまや経済の回復による浮揚力はほぼ使い尽くされた。なるほど、貧乏な日本のこと故、世界の他の国々に  
比べれば、消費や投資の潜在需要はまだ高いかもしれないが、戦後の一時期に比べれば、その欲望の熾烈さは  
明らかに減少した。もはや「（b）」ではない。我々はいまや異なった事態に当面しようとしている。回復  
を通じての成長は終わった。今後の成長は近代化によって支えられる。そして近代化の進歩も速やかにして  
かつ安定的な経済の成長によって初めて可能となるのである。

（資料出所は省略する。）

③ 次の第3図は、福田赳夫と宮沢喜一が首相を務めた時期を含む、ある20年間の所得税収と消費税収の推移をグラフ化したものである。図の横軸の1～4は、5年ごとの区分である。下のa～dの出来事が起きた時期を、図の1～4の中からそれぞれ選びなさい。ただし、a～dの出来事が起きた時期が1の時期より前の場合は0を、4の時期より後ろの場合は5を選びなさい。

aの解答は解答欄 (17) に、 bの解答は解答欄 (18) に、 cの解答は解答欄 (19) に、  
dの解答は解答欄 (20) に、  
その番号をマークしなさい。(重複使用不可)



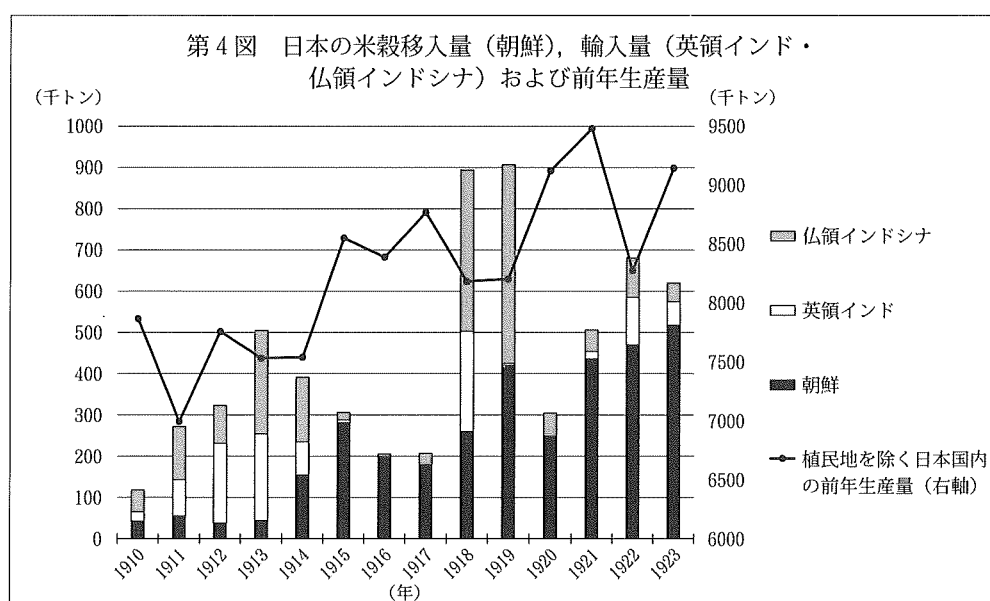
〔資料出所〕総務省統計局「日本の長期統計系列」より作成。

- a. 大手金融機関の北海道拓殖銀行と山一證券が経営破綻した。
- b. 企業を相手にした四大公害訴訟が被害者側の勝訴で終結した。
- c. 自民党の分裂を経て細川護熙を首班とする連立政権が誕生した。
- d. 北京で日中平和友好条約が締結された。

Ⅲ 次の文章を読んで、以下の問16、問17に答えなさい。解答はすべて〔解答用紙B〕の所定の欄に記述しなさい。

慶應みらい君は、1918年に起きた米騒動について学び、そして、その直後に成立した原敬内閣において日本の食糧自給に関する諸政策の実施が決まったことを知りました。みらい君は、その頃の日本がどこから米を移入(\*)または輸入しているのかに関心をもち、調べてみると、主な移入先が朝鮮で、主な輸入先が英領インドと仏領インドシナだと分かり、日本の前年の米穀生産量の推移と合わせて、第4図を作成してみました。さらに、英領インドと仏領インドシナの米輸出状況に関する資料aを見つけたので、みらい君は、この図と資料から何が読みとれるのか考えてみることにしました。皆さんも一緒に考えてみましょう。みらい君は、慶應義塾大学経済学部に入學したら、先行研究をもっと読み、日本内外の史料やデータを集め、統計的手法も学んで、この問題についてさらに深く考えてみたいとワクワクしています。

(\*)移出・移入は国内におけるモノの移動に対して使用する語であり、外国貿易における輸出・輸入と区別される。



〔資料出所〕大豆生田稔「米騒動前後の外米輸入と産地」『東洋大学文学部紀要・史学科編』43(2017年)より作成。

資料a(必要に応じて表現を改めた)

サイゴン米は従来その輸出を禁止し又は制限したることなかりしが、大正7-8(1918-19)年の米作十分なる豊収を見るあたわざりし時にあたり、世界的糧食不足による各地よりの需要増加し、輸出を自然に放任せば域内における米価を騰貴せしむるのみならず、無制限なる輸出はついに一般住民の消費米を空乏せしむる恐れあり。(中略)仏領インドシナ総督は(中略)大正8(1919)年2月以降毎月6万トンの米穀(白米および<sup>もみ</sup>糲)に対し特許主義により輸出を許可し(中略)たり。(中略)9月以降は絶対的米の輸出を禁止したり。(中略)

1918年(中略)7、8月の交約1ヶ月にわたる大干<sup>かんばつ</sup>魃によりインドにおける農作物の不作により国内の食糧品大払底を告ぐるにおよび、インド政庁は食糧管理に関する官制を發布し、一時米穀の輸出を絶対に禁止したりしが、その後再び(中略)輸出許可を与えたり後同年11月初旬以降は全然絶対に輸出を禁止せり。ビルマにおいてはインド、セイロンおよび海峡植民地に対しても月額を定め特許主義によりて輸出することをえたり。

〔資料出所〕農商務省『外米ニ關スル調査』大正9(1920)年3月。

問16 みらい君は、第4図に示された1910年から1919年までの時期の動きをみて、外国からの輸入量と日本の前年生産量との間に何らかの関係があると考えました。あなたは、みらい君が第4図からどのような関係を読みとったと考えますか。〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で記述しなさい。

問17 みらい君は、第4図に示された1920年以降の動きをみて、資料aに記されている状況が1920年以降の日本の米移入・輸入量に影響を与えたのではないかと考えました。あなたは、みらい君が第4図と資料aからどのような影響を読みとったと考えますか。問16で読みとった関係に触れながら、〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で記述しなさい。